

2018年度事業報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

1. 事業の状況

(1) 競技規則の制定

世界マスターズの福岡開催に向け、飛込、水球、ASおよびOWSの国内競技規則をFINAマスターズルールに基づき整備を進めた。

(2) 普及促進

本年度は講習会の実施を見送った。

(3) 競技会の開催

① 日本マスターズ水泳短水路大会

3月31日より6月3日までの期間、全国28会場にて開催した。

参加状況 24,877人 44,922種目

② 日本マスターズ水泳選手権大会（ジャパンマスターズ2018）

7月12日より16日までの期間、日本ガイシアリーナにて「第1回アジアマスターズ水泳選手権大会」を兼ねて開催した。

参加状況 5,458人 11,197種目

③ ウーマンズ・マスターズ水泳競技大会（ウーマンズ・アクア・フェスティバル2018）

9月16日より17日までの期間、横浜国際プールにて開催した。

参加状況 2,187人 3,648種目 イベント参加者316名

④ 日本マスターズ水泳長距離大会

10月27日より28日までの期間、愛知・口論義運動公園屋内プールにて開催した。

なお、東京会場はプールの改修工事のため実施を見送った。

参加状況 愛知会場 199人 202種目

⑤ 日本マスターズ水泳スプリント選手権大会（ジャパンマスターズスプリント2018）

11月24日より25日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。

参加状況 2,987人 5,955種目

⑥ 日本マスターズ水泳選手権大会OWS競技（ジャパンマスターズ2018OWS）

9月8日より9日までの期間、常滑りんくうビーチにてマスターズ水泳として初めてのOWS公式大会を開催した。なお、一般社団法人愛知水泳連盟主催あいちりんくうオープンと共同の開催となった。

参加状況 144名

⑦ 日本マスターズ水泳選手権大会水球競技プレ大会

9月17日に、横浜国際プールにてテスト大会として開催した。

参加状況 男子18チーム 女子チームの参加はなかった。

(4) 地域大会の奨励指導

当協会が公認するマスターズ大会のうち、9会場へ大会運営の指導を行った。

(5) 競技会および記録の公認

国内107大会、海外2大会の記録を公認した。

また大会での記録139, 255件を公認記録として認めた。

(6) 国際大会の開催

- ① 第1回アジアマスターズ水泳選手権をジャパンマスターズと同時開催した。海外14カ国から250名の参加があった。
- ② 第19回世界マスターズ水泳福岡大会OC組織委員に高橋繁浩会長が、実行委員に地平達郎専務理事がそれぞれ就任した。

(7) 日本記録の公認および世界記録の公認申請

公認した記録のうち世界記録突破59件、日本新記録樹立477件であった。世界記録を突破した記録は(公財)日本水泳連盟を通じ国際水泳連盟(FINA)に公認申請を行った。

(8) 機関誌および刊行物

- ① マスターズニュース(会報)を3回発行し、登録チームならびに関係団体へ配布した。アジアマスターズについては「スイミングマガジン」に特集ページの掲載を依頼した。なおマスターズニュースは本年度をもって休刊とした。
- ② 短水路大会の全記録を集計し「短水路大会20傑ランキング」を刊行した。
- ③ 年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行した。
- ④ 「マスターズスイマーのためのドライランドトレーニング」(DVD)の販売を継続した。

(9) ドライランドトレーニングの普及

日本水泳トレーナー会議の協力により、ドライランドトレーニングならびに個別コンディショニングを、主催大会8会場で実施した。

(10) 国内外の水泳関係団体との連携協力

- ① 国外公認大会への参加者に対する日本マスターズ水泳協会登録競技者であることの証明書34枚を発行した。
- ② 公益財団法人日本水泳連盟への加盟を継続した。
- ③ 公益財団法人日本水泳連盟、一般社団法人日本スイミングクラブ協会および日本障がい者水泳協会と共同して「水泳の日2018」を開成山プール(福島県郡山市)で開催した。
- ④ 「第1回アジアマスターズ水泳選手権大会」をアジア水泳連盟(AASF)および公益財団法人日本水泳連盟と共同主催とし開催した。
- ⑤ 一般社団法人日本スイミングクラブ協会主催マスターズ水泳大会の公認並びに協力をを行った。

(1 1) 登録

2018年登録 チーム登録 3,086件、個人登録 40,178人であった。

(1 2) 情報システム

- ① WEB大会エントリーシステムによる申込数が全体の約8割を超えた。
- ② 同システムに「第1回アジアマスターズ水泳選手権」申込のための海外対応機能を付加しエントリーを実施した。
- ③ 同システムでの公認大会各主管団体による申込受付対応を開始した。

(1 3) その他

- ① マスターズ水泳の目標を定めるために、中期計画策定委員会を設置した。

以上